

令和 2 年度
学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：平成 31 年 4 月 1 日
至：令和 2 年 3 月 31 日

学校法人創心会 西日本看護専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	2
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	2
2. 学校関係者評価委員名簿	2
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	2
4. 学校関係者評価委員会の実施方法と評価の仕方	2
II. 学校関係者評価委員会の報告	3
1. 教育理念・目的・人材育成像	3
2. 学校運営	3
3. 教育活動	4
4. 学修成果	5
5. 学生支援	5
6. 教育環境	6
7. 学生の受け入れ募集	6
8. 財務	6
9. 法令等の遵守	7
10. 社会貢献・地域貢献	7

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的・基本方針

1) 目的

- ① 保護者、卒業生、地域住民、企業関係者、高等学校関係者などの学校関係者が、西日本看護専門学校自己点検・自己評価結果を評価することを通して、自己評価の客観性・透明性を高める。
- ② 学校運営・教育活動の現状と課題について、学校関係者と共通理解を深めて、相互の連携を促し、学校運営の改善を図る。

2) 基本方針

西日本看護専門学校における学校関係者評価は、文部科学省及び私立専門学校等評価研究機構の「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属(役職)
地元企業関係者	川井 伴子	(社医)北九州病院 北九州総合病院 看護部長
高等学校関係者	土田 秀夫	福岡県立京都高等学校 校長
地域住民	柴田 文寿	湯川校区
卒業生	瀧内 正範	北九州総合病院
保護者	下 窄 泉	保護者代表

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

日時：令和2年5月20日(水)16:30

場所：西日本看護専門学校

※ 本年度の学校関係者評価委員会は、令和2年5月15日(金)開催予定だったが、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、書面をもって議決することとした。

4. 学校関係者評価委員会の実施方法、評価の仕方、公表

学校関係者評価委員の皆様、西日本看護専門学校の自己点検・自己評価表を事前に配付し、お目を通していただく。学校関係者評価委員会開催時に、本校から評価項目の説明をし、自己評価結果に対するご意見をいただく。自己点検・自己評価表に基づき、自己評価結果及び課題・改善方策について、次のポイントに留意しながら評価を行った。

- ① 自己評価結果の内容が適切か
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か

ご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページに公表いたします。

II. 学校関係者評価委員会の報告

1. 教育理念・目的・人材育成像

学校関係者評価結果:適切

現状

理念、目的、卒業時の学生像については、学生便覧に明記し、ホームページに公開している。理念に「ひとり、ひとりを大切に心のこもった看護を実践する」を掲げ、目的を「看護の理論と実践を通して、専門職業人としての看護観を育て、優れた知識・技術に基づいて主体的に責任ある看護活動を行い、看護の発展に寄与できるための基礎的能力を修得する」としている。毎年、新入生を迎えるにあたって、学生、保護者に教育理念、目的目標、卒業時の学生像について説明を行い、周知を図っている。

教育目標は、教育理念、目的と一致し、教育内容を網羅したものになっている。また、卒業生像については、教育目標に対応しており、本校の人材育成像がはっきりと読み取れるものになっている。

令和2年度からは、シラバスに教育理念、教育目標を掲載し、常日頃から学生の目に留まるよう改善した。

社会のニーズに向けての将来構想については、在宅医療の発展への方向性に対応できる教育内容である。また、学生のレディネスを把握しながら、社会人基礎力を充実していく教育を実施している。令和元年中期目標を設定した。

学校関係者評価委員会による評価

シラバスに教育理念、教育目標を掲載し、常に学生の目に留まるよう改善したことについて、高い評価を得た。ただし、理念・目標の表現について、保護者への理解、また周知していただくことは大変であろうと意見を得た。

課題・改善策

今後はカリキュラム改正の動向や保健医療福祉の変革を見守りながら、将来図を決定していく。次期カリキュラム改正では、他職種との連携強化について、見直す必要がある。

2. 学校運営

学校関係者評価結果:適切

現状

本校は学校法人であり、理事会・評議員会が毎年実施され、その中で決定権が行使されている。

学校の収支、寄附金の受け入れ、役員・評議員の選任に関する事等、理事会・評議員会にて決定している。毎月運営会議を開催し、学校運営のすべてを会議にて審議している。教務会議は定期的に1週間に1回開催しており、教務に関する内容について協議し、決定している。またこれらの運営については学則に明記しており、学則、細則、内規については毎年定期的にすべて見直し、整備している。

教育活動に関しての情報は、本校のホームページにて公開しており、定期的に更新している。

学校関係者評価委員会による評価

個人情報の取り扱いは、適正な取扱い及び保護に努めているが、更なる情報システムにおいての個人情報の管理に努めることが重要であるとの意見を得た。

課題・改善策

現状を継続させ、規程を遵守しながら学校運営を遂行していく。

3. 教育活動

学校関係者評価結果: やや適切

現状

カリキュラムに関しては、学科、実習すべて教育理念に沿った内容である。理念に沿って看護の心を育てる教育カリキュラムを組んでおり、コミュニケーション技術や人間関係論などの充実、また、看護観を育てるといった特色ある内容となっている。

実習においては、急性期病院での実習が充実している。また、あらゆるライフステージの喜びとを理解するために、病院のみでなく様々な実習場所を確保し、理解を深めていける実習を組んでいる。今後は、慢性期、回復期における実習の充実を図ることが課題である。また、学科、実習ともに実践とそのエビデンスが順序立てて学べるよう、カリキュラムは体系的に編成している。

令和元年より、学生からのカリキュラムアンケートを実施し、アンケート結果を基に学習評価の分析を行い、現状の把握と課題の洗い出しを行った。学科や実習では、シラバスによる学生への事前の提示、その後の指導の評価、アンケートの実施、その結果の振り返りを行い、今後の指導の示唆を得て、次回に活かす一連の過程を実践している。

シミュレーション教育に関しては、本年度多くの教員が研修に参加し、本校で実施できる方法について、検討している。

単位認定については基準を定め、運営会議にて認定審議を実施している。実習に関しては、毎年指導者会議を複数回実施し、病院での指導内容や実習における全体的な評価を頂き、その後の実習指導に反映している。

看護師国家試験に向けての指導体制については、カリキュラム内容（学科・実習）の充実を図るとともに、1年次後半より対策を実施しており、2年次では模擬試験の実施、3年次においては頻回な模擬試験の実施と個別指導や長期休暇期間における集団指導等を実施している。

教員研修に関しては積極的に推奨しており、毎年多くの教員が研修に参加できているが、下半期から教員数が減少したため、研修に参加する機会がもてなかった。

学校関係者評価委員会による評価

実習については、実習場所の事情・感染の長期化などにより、情勢に応じたカリキュラムの見直しが必要となるとの意見を得た。その他の指摘事項はなし。

課題・改善策

今後の課題は、授業研究の実施と教員養成講習会受講についてである。教員養成講習会に受講できていない教員が2名であったが、令和元年度1名が受講を修了した。令和2年度専任教員が3名入職するが、その内1名が令和2年度教員養成講習会受講の参加が決定している。

令和2年における重要事項は、新型コロナウイルス感染症対策に伴った教育活動について、柔軟に対応し、あるいは見直す必要がある。

4. 学修成果

学校関係者評価結果: やや適切

現状

国家試験の合格率・就職率ともに良好であることから、本校の教育水準は一定の水準に達していると言える。

退学については、その原因を追究し、日々指導を振り返り、学生の学校生活への指導に活かしており、退学する学生は少しずつではあるが、減少傾向にある。その一方で学科・実習ができない学生が増加している。

卒業生の動向については、卒業年の8月にホームカミングデイを開催し、卒業生の近況と就職後の動向を情報収集している。また、卒業生が就職した病院に卒業生の近況について尋ね、情報収集をしている。卒業後の学修成果については、主たる実習病院での指導者会議において、本校の卒業生の現状を情報収集した結果を、演習等に組み込み実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対応策に関する学修成果を見て行く必要がある。

学校関係者評価委員会による評価

学業不振者の増加について、学習意欲の向上を図ることが重要であるとの意見を得た。その他の指摘事項はなし。

課題・改善策

アドミッションポリシーの明確化・看護への興味や関心の向上のための工夫・指導内容など、今後の課題である。

5. 学生支援

学校関係者評価結果: 適切

現状

学生の相談体制・経済的支援・健康管理・課外活動に対する支援等は十分整っている。相談体制については、面接計画も整っており、必要時には随時面接を実施している。経済的支援については、奨学金制度や公共職業訓練等の教育訓練などを活用している。さらに令和2年度から開始となる高等教育修学支援新制度の対象機関となった。

健康管理については、毎年5月に健康診査を実施し、健康管理について個別指導を実施している。また、インフルエンザ予防接種は学校負担で実施し、健康管理についての支援は、校医と協議しながら行っている。

課外活動はクラブ活動も充実し、ストレス発散や学びの場となっている。保護者とは、学生の学習状況や、生活態度等の問題があるときに連携を取っている。さらに年1回学生後援会を開催し、情報交換等を実施し、学校の情報公開に努めている。令和2年度からスクールカウンセリング室を開設し、学生の精神的支援を図る。

高校との連携については、積極的に出向き、学校説明会及び看護師という職業教育やキャリア教育を実施している。卒業生への支援に関しては、平成30年度よりホームカミングデイを実施している。

学校関係者評価委員会による評価

スクールカウンセリング導入について、高い評価を得た。また、学生が利用しやすい運営をするよう意見を得た。

課題・改善策

スクールカウンセリングに学生が多く利用できるよう、学生に周知し、利用しやすい運用を目指す。

6. 教育環境

学校関係者評価結果: やや適切

現状

施設・設備については、毎年見直し整備している。また、実習施設についても教育環境について話し合い、環境を整えていただいている。令和2年6月から遠隔授業を開始できるよう準備し、実施していく。

防災訓練を毎年1回必ず実施しているが、充実した訓練を実施しているのは火災のみのため、今後はあらゆる災害を見越した訓練が必要である。防災時の学生・教職員用に水分の確保は本年度実施した。今後大雨による警報等で学校に留まらなければならなくなった場合を想定し、非常食等の準備を検討する必要がある。感染対策における実習や講義の変更に柔軟に対応できるよう準備、実施していく。ICTなどの活用を思考していく。

学校関係者評価委員会による評価

ICTの活用を推奨する意見を得た。また、防災対策の遅れに対する指摘を得、その方法について指南をいただいた。他に指摘事項はなし。

課題・改善策

令和2年度は、ICTを活用できる教育環境を整えていく。

防災については、被災事態を想定し、今後準備するもの等、早急に検討する必要がある。

7. 学生の受け入れ募集

学校関係者評価結果: やや適切

現状

学生募集については、オープンキャンパス・学校見学会の実施、ホームページに公開、学校案内・学生募集要項の配布、学校ガイダンスの参加、高等学校を訪問し、学生の募集活動を行っている。その際、本校の教育成果については明確に説明をし、公表している。18歳人口が減少する中、入学者の確保のための方策を今後も実施していく必要がある。令和2年度入学試験において、高等学校より面接時の内容についてのご指摘があったため、今後面接の質問に対して再度確認を実施する。

学校関係者評価委員会による評価

学生の受け入れについては、本校の取り組みに対して高い評価を得た。今後の入学試験面接については、事前の確認が必要であるとの意見を得た。

課題・改善策

入学試験面接について、面接官は質問事項を再確認し、徹底させる。

8. 財務

学校関係者評価結果: 適切

現状

ホームページに公開の財務諸表のとおり、学校の財政基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中期的な財政基盤の安定に努めていく。事業年度開始に当たって作成する予算について、教育機器・教材の購入を年間の予算に計上し、計画的・優先的に購入し、予算の編成及び執行は適正に実施している。会計監査は、公認会計士及び監事により適正に行われている。財務情報については、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに公開している。

学校関係者評価委員会による評価

指摘事項はなし。財政基盤の安定・収支計画の見直し・ホームページへの公開等、評価を得ている。

課題・改善策

今後も安定した財政基盤を保ち、運営していく。ICT環境整備のための支出が今後考えられるため、中期的展望を踏まえ、収支計画を立案する。

9. 法令等の遵守

学校関係者評価結果:適切

現状

法令、専修学校設置基準・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの遵守と適正な運営を実施している。また、個人情報に関し、その保護のための対策をとっている。

自己評価の実施は、自己点検・自己評価の委員を組織し、毎年実施しており、教職員全員が把握し、周知するよう指導している。自己評価結果については、ホームページに公開している。

学校関係者評価委員会による評価

本校の取り組み、また法令を遵守していることへの評価を得た。他に指摘事項はなし。

課題・改善策

今後も、法令を遵守し、感染予防対策等のためのカリキュラムや休業要請については、所轄庁に確認しながら進行していく。

10. 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果:適切

現状

卒業生や看護師への図書室の開放や、地域の講演等に講堂等を開放するなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援している。

福岡県専任教員養成講習会の講義・演習を引き受け、看護教員の育成に携わっている。

学校関係者評価委員会による評価

指摘事項はない。

ボランティアの推奨や看護教員の育成など、高い評価を得た。

課題・改善策

今後も現状を維持しながら、さらに地域貢献に結びつくことを検討していく。